貯蔵工程用作業シート

この作業シートは、貯蔵工程における対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-1貯蔵工程（入荷・出荷施設を含む）(pⅢ-6)の算出事例を参考にしてください。

不明の場合は、タンク高さの2分の1とする。
ただし、貯蔵高さを設定している場合は、その高さとする。

白色:1.0
銀色:1.2
薄茶・クリーム色:1.33
その他:1.46

タンク内径 5m以下:0.3
5m超～9m未満:0.8
9m以上:1.0

排ガス処理がない場合:1R
排ガス処理がある場合:1U
を「大気への排出」として集計

移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

Ⅰ　物性値を用いた計算による方法

通し番号	貯蔵する原料、製造品等		原料、製造品等に含まれる対象物質の物性値等					貯蔵タンクのサイズ等								大気への排出量の算出								
	原料、製造品等の名称	原料、製造品の年間搬入量	1Aに含まれる対象物質名	1A中の1Cの含有率	1Cの分子量	1Cの蒸気圧	タンク内での1Cの分圧	タンク内径	タンク容量	タンク高さ	平均貯蔵高さ	年間平均外気温度差	タンク内圧力	タンク色係数	タンク径係数	呼吸ロス	受入ロス	大気への潜在排出量	排ガス処理の除去率	排ガス処理の分解率	大気への排出量	処理により発生する廃棄物の名称	1Vの移動等の分類	1Vの廃棄物に含まれる量
		m^3		%	g/mol	Pa	Pa	m	kL	m	m	℃	Pa（絶対圧）			kg/年	kg/年	kg/年	%	%	kg/年			kg/年
	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G ※1	1H	1I	1J ＝1I×4÷（$1H^2$×3.14）	1K	1L	1M	1N	1O	1P ※2	1Q ※3	1R =1P＋1Q	1S	1T	1U =1R×(100−1S)÷100	1V	1W	1X =1R×(1S−1T)÷100

※1　1G = 1F×(1D÷1E)÷[(1D÷1E)＋(1C以外の1Aの構成物質αの含有率%÷1C以外の1Aの構成物質αの分子量)＋(1C以外の1Aの構成物質βの含有率%÷1C以外の1Aの構成物質βの分子量)＋・・・]

※2　$1P = 0.3 \times 1E \times [1G \div (101.3 \times 10^3 - 1G)]^{0.68} \times 1H^{1.73} \times (1J - 1K)^{0.51} \times 1L^{0.5} \times 1N \times 1O$

※3　1Q = 0.041×1E×1B×(1G÷1M)

受入ロスを算出する場合:搬入量
払出ロスを算出する場合:搬出量
給油ロスを算出する場合:給油量
を記入

給油所からの排出量を算出する場合　:「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部」4-3-5 ア)(pⅢ-506)の係数
対象物質の純物質の排出量を算出する場合　:「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部」4-2-8)(pⅢ-415)の係数×2E÷420

排ガス処理がない場合:2M
排ガス処理がある場合:2Q
を「大気への排出」として集計

移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

Ⅱ　排出係数による方法

通し番号	貯蔵する原料、製造品等		原料、製造品等に含まれる対象物質の物性値等					対象物質の排出係数			大気への排出量の算出									
	原料、製造品等の名称	原料、製造品の年間搬入（or搬出・給油）量	2Aに含まれる対象物質名	2A中の2Cの含有率	2Cの蒸気圧	タンク容量	使用日数	2Cの排出係数（呼吸ロス）	2Cの排出係数（受入ロス）	2Cの排出係数（払出または給油ロス）	呼吸ロス	受入ロス	払出または給油ロス	大気への潜在排出量	排ガス処理の除去率	排ガス処理の分解率	大気への排出量	処理により発生する廃棄物の名称	2Rの移動等の分類	2Rの廃棄物に含まれる量
		m^3＝kL		%	Pa	kL	日				kg/年	kg/年	kg/年	kg/年	%	%	kg/年			kg/年
	2A	2B	2C	2D	2E	2F	2G	2H	2I	2J	2K =2G×2H	2L =2B×2I	2M =2B×2J	2N =2K＋2L＋2M	2O	2P	2Q =2N×(100−2O)÷100	2R	2S	2T =2N×(2O−2P)÷100

排ガス処理がない場合:3F
排ガス処理がある場合:3I
を「大気への排出」として集計

移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

Ⅲ　物質収支による方法

通し番号	貯蔵する原料、製造品等			原料、製造品等に含まれる対象物質		大気への排出量の算出						
	原料、製造品等の名称	原料、製造品の年間取扱量	原料、製造品の年間搬出量	3Aに含まれる対象物質名	3A中の3Dの含有率	大気への潜在排出量	排ガス処理の除去率	排ガス処理の分解率	大気への排出量	処理により発生する廃棄物の名称	3Jの移動等の分類	3Jの廃棄物に含まれる量
		kg/年	kg/年		%	kg/年	%	%	kg/年			kg/年
	3A	3B	3C	3D	3E	3F =(3B−3C)×3E÷100	3G	3H	3I =3F×(100−3G)÷100	3J	3K	3L =3F×(3G−3H)÷100

反応・混合等工程用作業シート

この作業シートは、反応・混合等工程における原料や製造品の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-2反応・混合等工程(pⅢ-27)の算出事例を参考にしてください。

対象物質を原料として別の物質を製造している場合は、反応率を用いるなどして、反応により消費される量を算出してください。

廃剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用原料または製造品中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出						対象物質の製造品としての搬出量等の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出							対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のB(B')の含有率 % E	B'からBへの換算係数 F	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 G =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 H (Gの合計)	Aで製造されるBを含む製造品の名称 I	Iの製造量 kg/年 J	I中のB(B')の含有率 % K	I中のBの製造品としての搬出量等 kg/年 L =J×K×F÷100	Bの製造品としての搬出量等の合計 kg/年 M (Lの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 N	Nの発生量 kg/年 O	N中のB(B')の含有率 % P	Nの移動等の分類 Q	N中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 R =O×P×F÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 S (Rの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 T =H-M-S
																			→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定
U
排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水域

水溶解度を用いて算出する場合

排水中のBの濃度 mg/L V	排水量 m^3/年 W	水域への潜在排出量 kg/年 X =V×W÷1000

α →
排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

kg/年 X'

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入して下さい。

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝X	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝X'	

排水処理がない場合:X・X'
排水処理がある場合:AA・AA'
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % Y	排水処理による分解率 % Z	水域への処理後の排出量 kg/年 AA =X×(100-Y)÷100	処理による分解量 kg/年 AB =X×Z÷100
% Y'	% Z'	kg/年 AA'	kg/年 AB'

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 AC =X×(Y-Z)÷100
→ AH'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 AD	AD中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AE =X×(Y-Z)÷100	ADの移動等の分類 AF
AD'	kg/年 AE'	AF'

AE・AE'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体
AG
排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入

大気

β →
排水処理により大気へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

大気への潜在排出量 kg/年 AH ※
kg/年 AH'

※「大気への潜在排出量AH」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AH＝T－X
②-1:AH＝T－AA－AB－AC
②-2:AH＝T－AA－AB－AE

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AH	
排水処理により大気へ排出される量　＝AH'	

排ガス処理がない場合:AH・AH'
排ガス処理がある場合:AK・AK'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AI	排ガス処理による分解率 % AJ	大気への処理後の排出量 kg/年 AK =AH×(100-AI)÷100	処理による分解量 kg/年 AL =AH×AJ÷100
% AI'	% AJ'	kg/年 AK'	kg/年 AL'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AM =AH×(AI－AJ)÷100
→ X'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AN	AN中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AO =AH×(AI－AJ)÷100	ANの移動等の分類 AP
AN'	kg/年 AO'	AP'

AO・AO'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」

機械加工工程用作業シート

この作業シートは、機械加工工程における切削油等に含まれる添加剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-3機械加工工程(pⅢ-52)の算出事例を参考にしてください。

廃切削剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用切削剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
機械加工							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

大気への排出量の算出		水域への排出量の算出	
大気・水域の排出の少ない媒体の判定 P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	大気への排出量 kg/年 Q	大気・水域の排出の多い媒体 R 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	水域への潜在排出量 kg/年 S =O
大気	0	水域	

「大気への排出」として集計

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝S	

排水処理がない場合:S
排水処理がある場合:V
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または
「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % T	排水処理による分解率 % U	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100	排水処理で発生する廃棄物の名称 X	X中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Y =S×(T−U)÷100	Xの移動等の分類 Z

移動等の分類ごとに
「当該事業所の外への移動」または
「当該事業所における埋立処分」
として集計

洗浄工程用作業シート

この作業シートは、洗浄工程における洗浄剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-4洗浄工程(pⅢ-56)の算出事例を参考にしてください。

①廃洗浄剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、洗浄剤中の対象物質の含有率を用いてください。
②ウエス等が発生する場合は、洗浄剤を含んだウエスの重量と洗浄剤を含まないウエスの重量との差を用いるなどして算出してください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
洗浄							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定
P
排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水域

水溶解度を用いて算出する場合

排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m^3/年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
		kg/年 S'

α →
排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入して下さい。

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝S	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝S'	

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % T	排水処理による分解率 % U	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100
% T'	% U'	kg/年 V'	kg/年 W'

排水処理がない場合:S・S'
排水処理がある場合:V・V'
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X =S×(T-U)÷100
→ AC'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 Y	Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z =S×(T-U)÷100	Yの移動等の分類 AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

Z・Z'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体
AB
排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入

大気

大気への潜在排出量 kg/年 AC ※
kg/年 AC'

β →
排水処理により大気へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

※「大気への潜在排出量AC」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AC＝O－S
②-1:AC＝O－V－W－X
②-2:AC＝O－V－W－Z

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AC	
排水処理により大気へ排出される量　＝AC'	

排ガス処理がない場合:AC・AC'
排ガス処理がある場合:AF・AF'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AD	排ガス処理による分解率 % AE	大気への処理後の排出量 kg/年 AF =AC×(100-AD)÷100	処理による分解量 kg/年 AG =AC×AE÷100
% AD'	% AE'	kg/年 AF'	kg/年 AG'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AH =AC×(AD－AE)÷100
→ S'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AI	AI中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AJ =AC×(AD－AE)÷100	AIの移動等の分類 AK
AI'	kg/年 AJ'	AK'

AJ・AJ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

塗装工程(溶剤)用作業シート

この作業シートは、塗装工程における塗料に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-5塗装工程(pⅢ-71)の算出事例を参考にしてください。

廃塗料中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用塗料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
塗装							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定
P
排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水域

水溶解度を用いて算出する場合

排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m^3/年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
		kg/年 S'

α →
排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入して下さい。

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝S	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝S'	

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % T	排水処理による分解率 % U	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100
% T'	% U'	kg/年 V'	kg/年 W'

排水処理がない場合:S・S'
排水処理がある場合:V・V'
を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X =S×(T-U)÷100
→ AC'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 Y	Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z =S×(T-U)÷100	Yの移動等の分類 AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

Z・Z'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体
AB
排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入

大気

β →
排水処理により大気へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

大気への潜在排出量 kg/年 AC ※
kg/年 AC'

※「大気への潜在排出量AC」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AC＝O－S
②-1:AC＝O－V－W－X
②-2:AC＝O－V－W－Z

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AC	
排水処理により大気へ排出される量　＝AC'	

排ガス処理がない場合:AC・AC'
排ガス処理がある場合:AF・AF'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AD	排ガス処理による分解率 % AE	大気への処理後の排出量 kg/年 AF =AC×(100-AD)÷100	処理による分解量 kg/年 AG =AC×AE÷100
% AD'	% AE'	kg/年 AF'	kg/年 AG'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AH =AC×(AD－AE)÷100
→ S'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AI	AI中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AJ =AC×(AD－AE)÷100	AIの移動等の分類 AK
AI'	kg/年 AJ'	AK'

AJ・AJ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

塗装工程(顔料)用作業シート

この作業シートは、塗装工程における塗料に含まれる金属化合物等の顔料の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-5塗装工程(pⅢ-71)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、①塗装面積×塗膜厚×塗膜中の対象物質含有率
②塗着効率×対象物質の取扱量
などの方法で算出してください。(塗着効率は「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部」4-3-6(pⅢ-533)参照)

廃塗料中の対象物質の含有率がわからない場合は、
使用塗料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製造品の名称 H	Hの製造量 kg/年 I	H中のBの含有率 % J	H中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 kg/年 N	M中のBの含有率 % O	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
塗装																			
																		→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

大気への排出量の算出		水域への排出量の算出								
大気・水域の排出の少ない媒体の判定 T 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	大気への排出量 kg/年 U	大気・水域の排出の多い媒体 V 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	水域への潜在排出量 kg/年 W =S							
大気	0	水域		①	①排水処理を行っていない場合					
					水域への排出量＝W					
				②	②排水処理を行っている場合					
					排水処理による除去率 % X	排水処理による分解率 % Y	水域への処理後の排出量 kg/年 Z =W×(100-X)÷100	処理による分解量 kg/年 AA =W×Y÷100	排水処理で発生する廃棄物の名称 AB	AB中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AC =W×(X－Y)÷100	ABの移動等の分類 AD

「大気への排出」として集計

排水処理がない場合:W
排水処理がある場合:Z
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または
「下水道への移動」として集計

移動等の分類ごとに
「当該事業所の外への移動」または
「当該事業所における埋立処分」
として集計

印刷工程(溶剤)用作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-6印刷工程(pⅢ-77)の算出事例を参考にしてください。

廃インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
印刷							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定 P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	水溶解度を用いて算出する場合 排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m^3/年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
水域			
			kg/年 S'

α → 排出処理により水域へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入して下さい。

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝S	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝S'	

排水処理がない場合:S・S'
排水処理がある場合:V・V'
を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % T	排水処理による分解率 % U	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100
% T'	% U'	kg/年 V'	kg/年 W'

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X =S×(T-U)÷100
→ AC'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 Y	Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z =S×(T-U)÷100	Yの移動等の分類 AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

Z・Z'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体 AB 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	大気への潜在排出量 kg/年 AC ※
大気	
	kg/年 AC'

β → 排出処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)

※「大気への潜在排出量AC」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AC＝O－S
②-1:AC＝O－V－W－X
②-2:AC＝O－V－W－Z

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AC	
排水処理により大気へ排出される量　＝AC'	

排ガス処理がない場合:AC・AC'
排ガス処理がある場合:AF・AF'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AD	排ガス処理による分解率 % AE	大気への処理後の排出量 kg/年 AF =AC×(100-AD)÷100	処理による分解量 kg/年 AG =AC×AE÷100
% AD'	% AE'	kg/年 AF'	kg/年 AG'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AH =AC×(AD－AE)÷100
→ S'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AI	AI中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AJ =AC×(AD－AE)÷100	AIの移動等の分類 AK
AI'	kg/年 AJ'	AK'

AJ・AJ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

印刷工程(顔料)用作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる金属化合物等の顔料の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-6印刷工程(pⅢ-77)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、物質収支などの方法で算出してください。

廃印刷インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用印刷インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製造品の名称 H	Hの製造量 kg/年 I	H中のBの含有率 % J	H中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 kg/年 N	M中のBの含有率 % O	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
印刷																			
																		→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

大気への排出量の算出		水域への排出量の算出	
大気・水域の排出の少ない媒体の判定 T 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	大気への排出量 kg/年 U	大気・水域の排出の多い媒体 V 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	水域への潜在排出量 kg/年 W =S
大気	0	水域	

「大気への排出」として集計

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝W	

②排ガス処理を行っている場合

排水処理による除去率 % X	排水処理による分解率 % Y	水域への処理後の排出量 kg/年 Z =W×(100-X)÷100	処理による分解量 kg/年 AA =W×Y÷100	排水処理で発生する廃棄物の名称 AB	AB中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AC =W×(X－Y)÷100	ABの移動等の分類 AD

排水処理がない場合:W
排水処理がある場合:Z
を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」

接着工程(溶剤)用作業シート

この作業シートは、接着工程における接着剤に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-7接着工程(pⅢ-88)の算出事例を参考にしてください。

廃接着剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用接着剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
接着							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定
P
排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水域

水溶解度を用いて算出する場合

排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m^3/年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
		kg/年 S'

α →
排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

排水中の濃度を測定している場合、

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝S	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝S'	

排水処理がない場合:S・S'
排水処理がある場合:V・V'
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % T	排水処理による分解率 % U	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100
% T'	% U'	kg/年 V'	kg/年 W'

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X =S×(T-U)÷100
→ AC'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 Y	Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z =S×(T-U)÷100	Yの移動等の分類 AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

Z・Z'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体
AB
排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入

大気

大気への潜在排出量 kg/年 AC ※
kg/年 AC'

β →
排出処理により大気へ排出される場合の記入欄
(これ以降の欄も同様)

※「大気への潜在排出量AC」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AC＝O－S
②-1:AC＝O－V－W－X
②-2:AC＝O－V－W－Z

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AC	
排ガス処理により大気へ排出される量　＝AC'	

排ガス処理がない場合:AC・AC'
排ガス処理がある場合:AF・AF'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AD	排ガス処理による分解率 % AE	大気への処理後の排出量 kg/年 AF =AC×(100-AD)÷100	処理による分解量 kg/年 AG =AC×AE÷100
% AD'	% AE'	kg/年 AF'	kg/年 AG'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AH =AC×(AD－AE)÷100
→ S'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AI	AI中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AJ =AC×(AD－AE)÷100	AIの移動等の分類 AK
AI'	kg/年 AJ'	AK'

AJ・AJ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

接着工程(添加剤)用作業シート

この作業シートは、接着工程における接着剤に含まれる添加剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-7接着工程(pⅢ-88)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の対象物質を接着面積×塗膜中含有率
などの方法で算出してください。

廃接着剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、
使用接着剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	AでB製造されるBを含む製造品の名称 H	製造品としての搬出量の算出式 I	H中のBの製造品としての搬出量 kg/年 J	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 K (Jの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 L	Lの発生量 kg/年 M	L中のBの含有率 % N	Lの移動等の分類 O	L中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 P =M×N÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 Q (Pの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 R =G-K-Q
接着																	
																→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

大気への排出量の算出		水域への排出量の算出									
大気・水域の排出の少ない媒体の判定 S 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	大気への排出量 kg/年 T	大気・水域の排出の多い媒体 U 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	水域への潜在排出量 kg/年 V =R								
大気	0	水域		①	①排水処理を行っていない場合						
	「大気への排出」として集計				水域への排出量＝V						
				②	②排水処理を行っている場合						
					排水処理による除去率 % W	排水処理による分解率 % X	水域への処理後の排出量 kg/年 Y =V×(100-W)÷100	処理による分解量 kg/年 Z =V×X÷100	排水処理で発生する廃棄物の名称 AA	AA中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AB =V×(W−X)÷100	AAの移動等の分類 AC

排水処理がない場合:V
排水処理がある場合:Y
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または
「下水道への移動」として集計

移動等の分類ごとに
「当該事業所の外への移動」または
「当該事業所における埋立処分」
として集計

めっき工程用作業シート

この作業シートは、めっき工程におけるめっき液に含まれる金属化合物等の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-8めっき工程(pⅢ-98)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の対象物質を①めっき厚さ×めっき面積×金属化合物の密度
②電流×めっき時間×電気化学当量×電流効率
などの方法で算出してください。
(電流効率は「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部」4-3-7(pⅢ-534)参照)

廃めっき液中の対象物質の含有率がわからない場合は、
使用めっき液中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製造品の名称 H	製造品としての搬出量の算出式 I	H中のBの製造品としての搬出量 kg/年 J	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 K (Jの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 L	Lの発生量 kg/年 M	L中のBの含有率 % N	Lの移動等の分類 O	L中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 P =M×N÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 Q (Pの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 R =G-K-Q
めっき																		
																	→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定 S 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	大気への排出量 kg/年 T
大気	0

→「大気への排出」として集計

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体 U 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	水域への潜在排出量 kg/年 V =R
水域	

①

①排水処理を行っていない場合	
水域への排出量＝V	

排水処理がない場合:V
排水処理がある場合:Y
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または
「下水道への移動」として集計

②

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % W	排水処理による分解率 % X	水域への処理後の排出量 kg/年 Y =V×(100-W)÷100	処理による分解量 kg/年 Z =V×X÷100	排水処理で発生する廃棄物の名称 AA	AA中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AB =V×(W−X)÷100	AAの移動等の分類 AC

移動等の分類ごとに
「当該事業所の外への移動」または
「当該事業所における埋立処分」
として集計

染色工程(染料)用作業シート

この作業シートは、染色工程における染料に含まれる金属化合物等の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-9染色工程(pⅢ-109)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、経験値等を用いて算出してください。

廃染料中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用染料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	A で取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	B が物質群の場合の個別物質名 B'	B を含む原材料、資材等の名称 C	C の年間取扱量 kg/年 D	C 中の B の含有率 % E	C に含まれる B(B')の年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	B の年間取扱量 kg/年 G (F の合計)	A で製造される B を含む製造品の名称 H	H の製造量 kg/年 I	H 中の B の含有率 % J	H 中の B の製造品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	B の製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (K の合計)	A で発生する B を含む廃棄物の名称 M	M の発生量 kg/年 N	M 中の B の含有率 % O	M の移動等の分類 P	M 中の B の廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	B の廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Q の合計)	B の環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
染色																			
																		→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

大気への排出量の算出		水域への排出量の算出	
大気・水域の排出の少ない媒体の判定 T 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	大気への排出量 kg/年 U	大気・水域の排出の多い媒体 V 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	水域への潜在排出量 kg/年 W =S
大気	0	水域	

「大気への排出」として集計

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝W	

排水処理がない場合:W
排水処理がある場合:Z
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または
「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % X	排水処理による分解率 % Y	水域への処理後の排出量 kg/年 Z =W×(100-X)÷100	処理による分解量 kg/年 AA =W×Y÷100	排水処理で発生する廃棄物の名称 AB	AB中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AC =W×(X−Y)÷100	ABの移動等の分類 AD

移動等の分類ごとに
「当該事業所の外への移動」または
「当該事業所における埋立処分」
として集計

染色工程(繊維処理剤)用作業シート

この作業シートは、染色工程における繊維処理剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-9染色工程(pⅢ-109)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、経験値等を用いて算出してください。

廃剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用繊維処理剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製造品の名称 H	Hの製造量 kg/年 I	H中のBの含有率 % J	H中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 kg/年 N	M中のBの含有率 % O	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
染色																			
																		→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定 T 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	水溶解度を用いて算出する場合 排水中のBの濃度 mg/L U	排水量 m^3/年 V	水域への潜在排出量 kg/年 W =U×V÷1000
水域			
α → 排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)			kg/年 W'

排水中の濃度を測定している場合、

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝W	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝W'	

排水処理がない場合:W・W'
排水処理がある場合:Z・Z'
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または「下

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % X	排水処理による分解率 % Y	水域への処理後の排出量 kg/年 Z =W×(100-X)÷100	処理による分解量 kg/年 AA =W×Y÷100
% X'	% Y'	kg/年 Z'	kg/年 AA'

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 AB =W×(X-Y)÷100
→ AG'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 AC	AC中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AD =W×(X-Y)÷100	ADの移動等の分類 AE
AC'	kg/年 AD'	AE'

AD・AD'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体 AF 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	大気への潜在排出量 kg/年 AG ※
大気	
β → 排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)	kg/年 AG'

※「大気への潜在排出量AG」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AG＝S－W
②-1:AG＝S－Z－AA－AB
②-2:AG＝S－Z－AA－AD

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AG	
排水処理により大気へ排出される量　＝AG'	

排ガス処理がない場合:AG・AG'
排ガス処理がある場合:AJ・AJ'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AH	排ガス処理による分解率 % AI	大気への処理後の排出量 kg/年 AJ =AG×(100-AH)÷100	処理による分解量 kg/年 AK =AG×AI÷100
% AH'	% AI'	kg/年 AJ'	kg/年 AK'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AL =AG×(AH－AI)÷100
→ X'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AM	AN中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AN =AG×(AH－AI)÷100	ANの移動等の分類 AO
AM'	kg/年 AN'	AO'

AN・AN'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

殺菌・消毒工程用作業シート

この作業シートは、殺菌・消毒工程における殺菌剤・消毒剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれての発生量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-10殺菌・消毒工程(pⅢ-124)の算出事例を参考にしてください。

廃液等中の対象物質の含有率がわからない場合は、殺菌剤・消毒剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
殺菌・消毒							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定 P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m^3/年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
水域			
α → 排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)			kg/年 S'

排水中の濃度を測定している場合、

水溶解度を用いて算出する場合

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝S	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝S'	

排水処理がない場合:S・S'
排水処理がある場合:V・V'
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % T	排水処理による分解率 % U	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100
% T'	% U'	kg/年 V'	kg/年 W'

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X =S×(T-U)÷100
→ AC'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 Y	Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z =S×(T-U)÷100	Yの移動等の分類 AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

Z・Z'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体 AB 排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入	大気への潜在排出量 kg/年 AC ※
大気	
β → 排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)	kg/年 AC'

※「大気への潜在排出量ACは「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AC＝O－S
②-1:AC＝O－V－W－X
②-2:AC＝O－V－W－Z

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AC	
排水処理により大気へ排出される量　＝AC'	

排ガス処理がない場合:AC・AC'
排ガス処理がある場合:AF・AF'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AD	排ガス処理による分解率 % AE	大気への処理後の排出量 kg/年 AF =AC×(100-AD)÷100	処理による分解量 kg/年 AG =AC×AE÷100
% AD'	% AE'	kg/年 AF'	kg/年 AG'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AH =AC×(AD－AE)÷100
→ S'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AI	AI中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AJ =AC×(AD－AE)÷100	AIの移動等の分類 AK
AI'	kg/年 AJ'	AK'

AJ・AJ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

その他溶剤等使用工程用作業シート

この作業シートは、その他溶剤等使用工程における溶剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編　1-11その他溶剤等使用工程(pⅢ-129)の算出事例を参考にしてください。

廃溶剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、
使用溶剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製造品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出						対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製造品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
							0							
													→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定
P
排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水域

水溶解度を用いて算出する場合

排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m^3/年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
α → 排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)		kg/年 S'

排水中の濃度を測定している場合、

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量＝S	
排ガス処理により水域へ排出される量　＝S'	

排水処理がない場合:S・S'
排水処理がある場合:V・V'
を放流場所に応じて、
「公共用水域への排出」または

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 % T	排水処理による分解率 % U	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100
% T'	% U'	kg/年 V'	kg/年 W'

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X =S×(T-U)÷100
→ AC'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 Y	Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z =S×(T-U)÷100	Yの移動等の分類 AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

Z・Z'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

大気・水域の排出の多い媒体
AB
排出の大きい媒体名(大気・水域)を記入

大気

大気への潜在排出量 kg/年 AC ※
β → 排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)
kg/年 AC'

※「大気への潜在排出量AC」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出
①　:AC＝O－S
②-1:AC＝O－V－W－X
②-2:AC＝O－V－W－Z

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量＝AC	
排水処理により大気へ排出される量　＝AC'	

排ガス処理がない場合:AC・AC'
排ガス処理がある場合:AF・AF'
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 % AD	排ガス処理による分解率 % AE	大気への処理後の排出量 kg/年 AF =AC×(100-AD)÷100	処理による分解量 kg/年 AG =AC×AE÷100
% AD'	% AE'	kg/年 AF'	kg/年 AG'

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AH =AC×(AD－AE)÷100
→ S'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AI	AI中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AJ =AC×(AD－AE)÷100	AIの移動等の分類 AK
AI'	kg/年 AJ'	AK'

AJ・AJ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計